

平成29年度第2回「人吉市地域公共交通活性化協議会」結果報告

期 日：平成29年11月9日（水）

時 間：13：30～14：20

場 所：人吉市保健センター教室③

出席者：別添名簿のとおり

結果：すべて承認（各議事における要旨は以下のとおり）

議事（1）予約型乗合タクシーの実証運行について

（熊本高専：橋本委員）

- ・実証運行の目的の中で「前回の十分な利用データがとれなかった」とのだがその内容は？あと、その課題をきちんとクリアできるような運行内容になっているのか？

（事務局：池下）

- ・昨年度は1か月の実施であり、永野地区においてはこれまで公共交通運行がなされていなかったことからスタートしたのと、大畑地区においては既存の乗合タクシーも併行運行した。告知についてはチラシ全戸配布や出前講座の設定などそれなりに努力はしたつもりであったが、結果的には永野地区15人、大畑地区49人だった。この利用データでは判断材料に乏しいということで今回改めて行いたい。前回の反省点（経路やダイヤ）は改善した上で臨む予定。

（熊本高専：橋本委員）

- ・数が少なかったということで、きちんとニーズが把握できているのであれば「十分な利用データがとれず」とあえて（目的に）載せなくてもよかったのではと思う。6～8週間あれば利用者は一定になってくるので今回の4か月設定はいいと思う。間の2か月ぐらいでヒアリングなどをすればニーズが把握できくと思うので検討してもらいたい。

（乗合タクシー事業者：北委員）

- ・10月末に公共交通に関するシンポジウムに参加した。その中で出たのが「利用目的がなければ利用されない。目的を提供することも必要」ということだった。今回も出発式を行って多くの人に出てきてもらったりすることもできるだろうし、前回も車内でPRしたりしてこなかったことは反省するところ。

（地域住民：桑原委員）

- ・地元の懇談会では、「お試し大畑号」に乗ってみたいという方は多かったが、乗った人は少なかった。エディオンまで乗車しイオンに行った。ただ、行って買い物をしたくてイオンに行けたのにただ乗っただけの人もいた。「公共交通はお金がかかる。車はかからない」という人もいて、「自分たちはまだ大丈夫」と思っている人は多い。老人会などでも訴えていかなければならないと思った。

（松田議長）

- ・今回はイオンのところは、前回と同じ場所か？乗り方講座とか説明も必要と思う。

（事務局：池下）

- ・前は市内のギリギリでエディオンだったが、今回は特定乗降場所としてお認めいただければイオンを設定する。

(人吉温泉観光協会：鳥越委員)

- ・運行日で土日が入っていない理由は？また、免許返納優遇措置は前回行っていたのか？今回は？これから重要な案件なので検討してほしい。

(事務局：池下)

- ・地元との協議の上で、予算枠を考慮した上で設定した。免許返納については、既存の乗合タクシーと産交バスで半額割引があるが、今回は実証運行ということで付随的なものは行わないところで提案している。

議事（２）平成２９年度補正予算（案）について

(人吉温泉観光協会：鳥越委員)

- ・チラシ印刷は実証運行のチラシか？対象世帯数は？

(事務局：古賀)

- ・実証運行のチラシで、大畑５００世帯、永野１５０世帯を予定している。

その他（現況報告）

(熊本運輸支局：小原委員)

- ・まめバスについては、網形成計画を定めるにあたっては課題整理はされていたか？

(事務局：池下)

- ・乗車アンケートを行った。乗客が限られているのが特徴的。まめバス自体をどうするか等の検討の必要があるということで資料に記載している。

(熊本運輸支局：小原委員)

- ・課題整理はできているのであとは幹線バスとの調整をしていくことということと理解する。

(乗合タクシー事業者：北委員)

- ・エコ通勤の推進も重要

以上